

そ お し ぶ し
曾於志布志道路検討会
第1回 資料



令和7年11月21日
鹿児島県土木部道路建設課

目 次

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 地域の概要 | P 3 |
| 2. 道路ネットワークの現状 | P19 |
| 3. 今後の進め方（案） | P25 |

1. 地域の概要

(1) 位置・地勢	P 3
(2) 人口動態	P 4
(3) 農畜産業	P 7
(4) 水産業	P 8
(5) 製造業	P 9
(6) 観光	P12
(7) 医療	P15

(1) 位置・地勢

- ◆ 曾於・志布志地域は、鹿児島県の東部、大隅半島の北部にあり、宮崎県との県境に位置している。西側の鹿児島県側は、霧島市、鹿屋市、大崎町、東側の宮崎県側は、都城市、串間市と接している。
- ◆ 曾於市は内陸の山間地や台地が中心である一方、志布志市は海岸線に面しており、内陸部から海岸部にかけて多様な地勢を有している。

■広域図



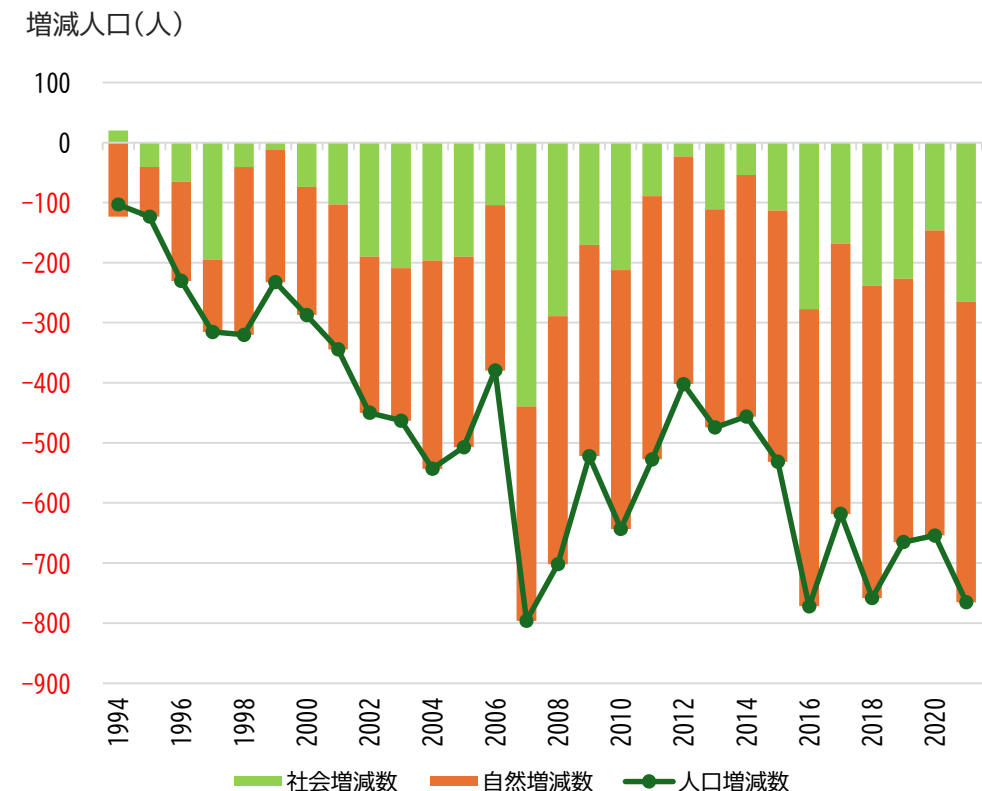
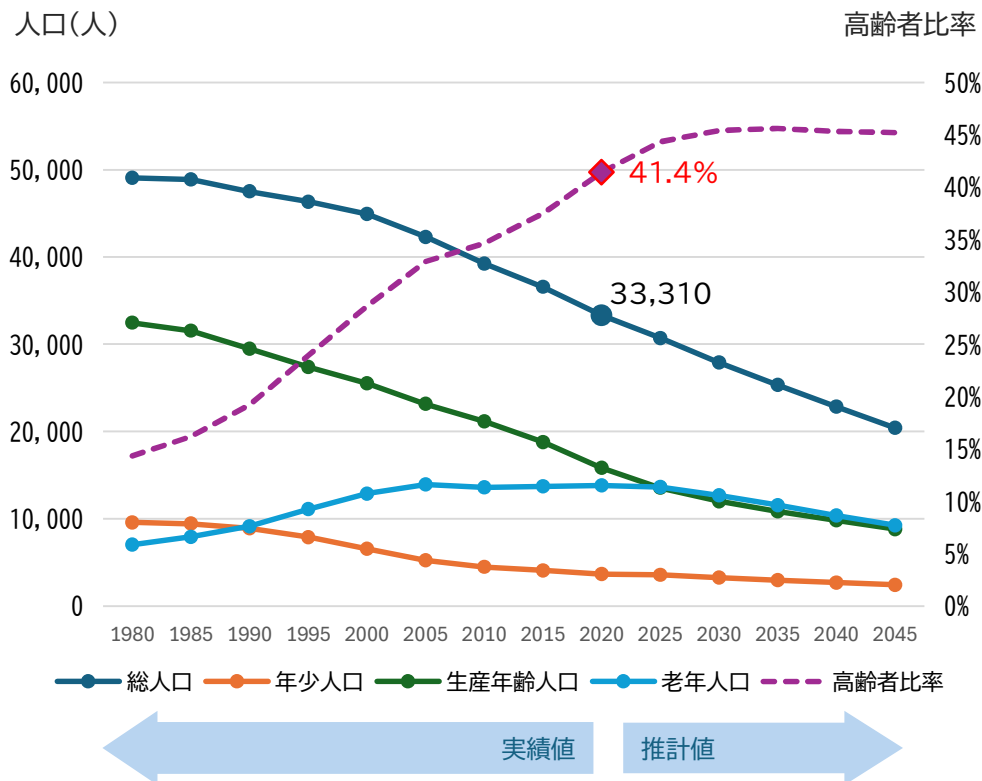
■位置図



(2) 人口動態（曾於市）

- ◆ 曾於市の人口は2020年時点で約3.3万人，1980年以降減少傾向。
- ◆ 総人口は減少傾向にある中で老年人口は増加，高齢化比率は41.4%
- ◆ 社会増減と自然増減はいずれも減少が続いているため，人口減少が加速。
- ◆ 今後も人口減少と高齢化は継続して進行する見通し。

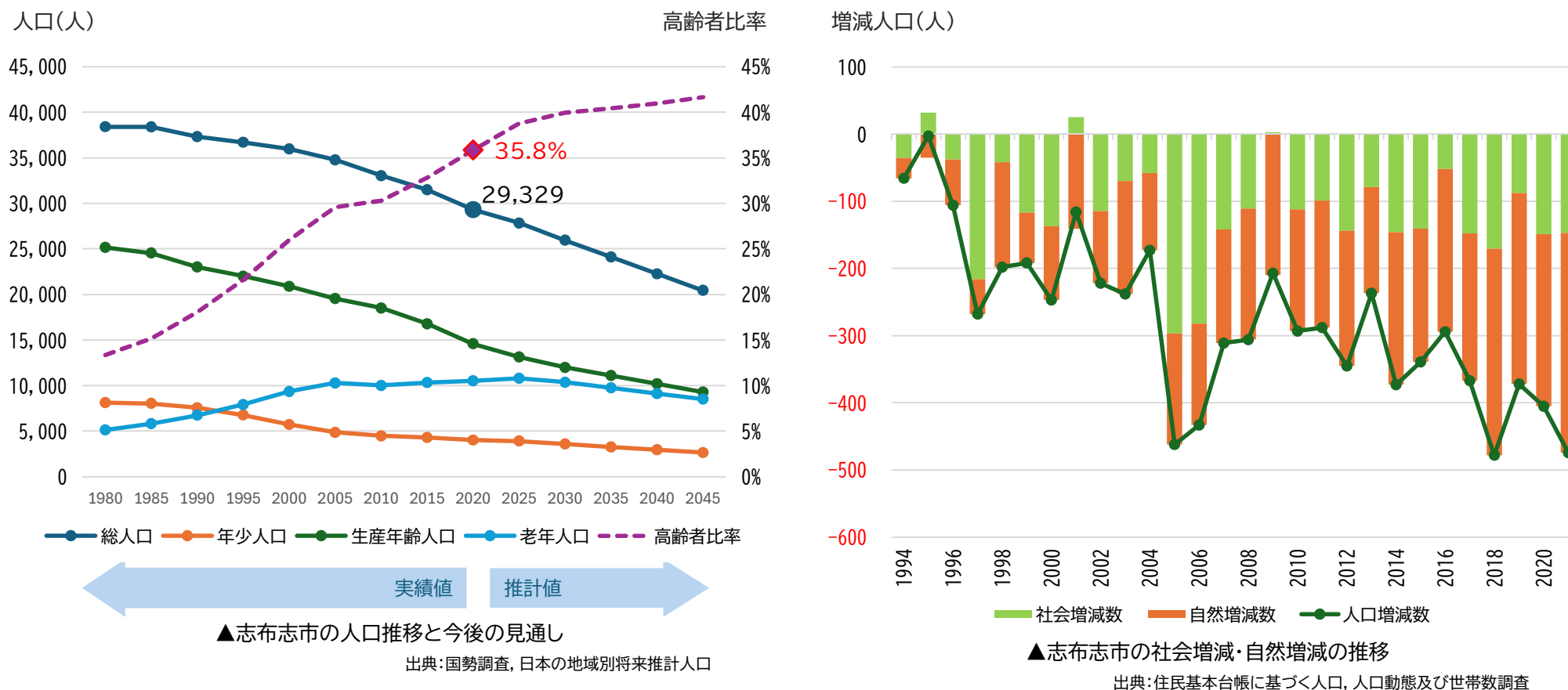
曾於市



(2) 人口動態（志布志市）

- ◆ 志布志市の人口は2020年時点で約2.9万人，1980年以降減少傾向。
- ◆ 総人口は減少傾向にある中で老年人口は増加，高齢化比率は35.8%
- ◆ 社会増減と自然増減はいずれも減少が続いているため，人口減少が加速。
- ◆ 志布志市も，今後の人口減少と高齢化は継続して進行する見通し。

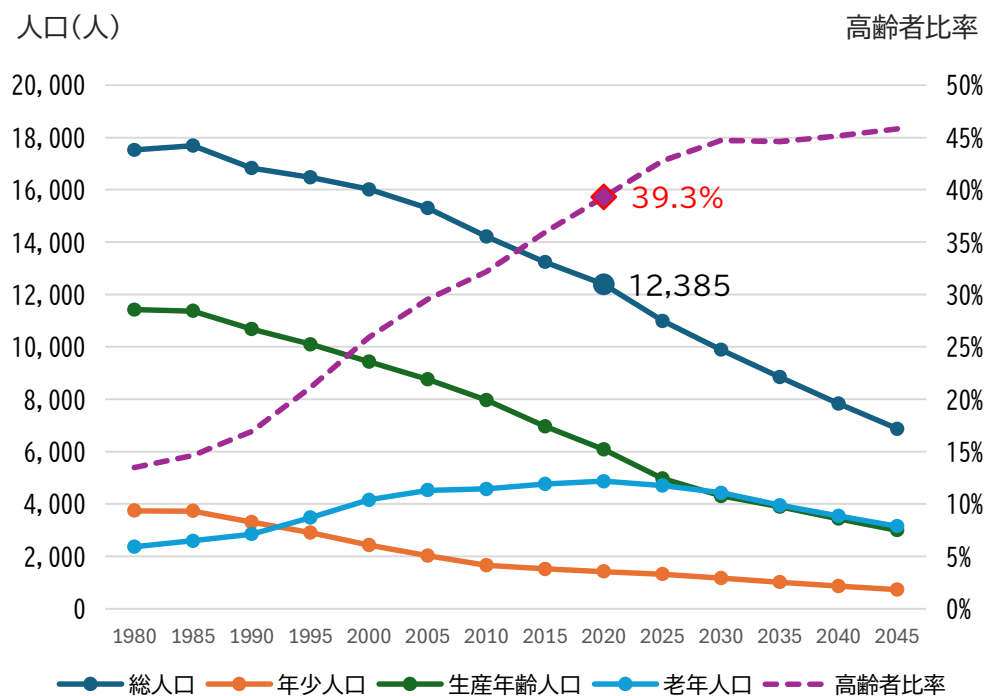
志布志市



(2) 人口動態（大崎町）

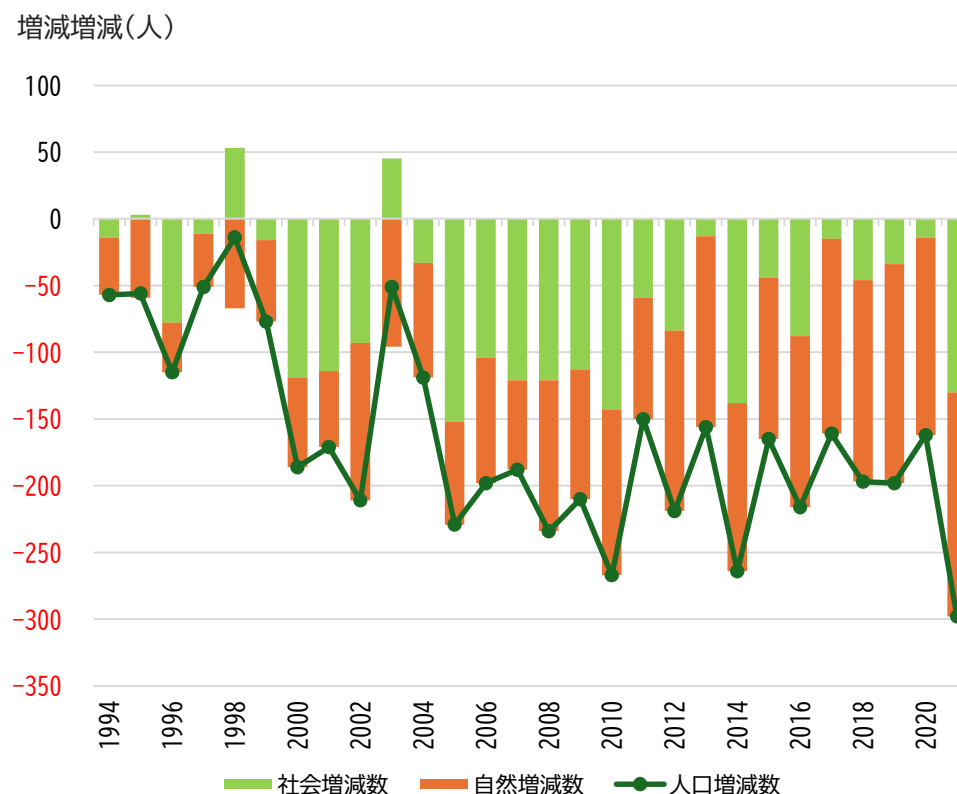
- ◆ 大崎町の人口は2020年時点で約1.2万人，1980年以降減少傾向。
- ◆ 総人口は減少傾向にある中で老年人口は増加，高齢化比率は39.3%
- ◆ 社会増減と自然増減はいずれも減少が続いているため，人口減少が加速。
- ◆ 大崎町も，今後の人口減少と高齢化は継続して進行する見通し。

大崎町



▲大崎町の人口推移と今後の見通し

出典：国勢調査，日本の地域別将来推計人口



▲大崎町社会増減・自然増減の推移

出典：住民基本台帳に基づく人口，人口動態及び世帯数調査

(3) 農畜産業

- ◆ 曾於市，大崎町は日本有数の畜産地帯であり，とうもろこし等の飼料原料が輸入されている。
- ◆ 志布志市はピーマン，茶の生産が多い。
- ◆ 志布志港の輸出品の林産品は，全国シェアの22%を占め，原木輸出量は15年連続全国1位

畜産業

曾於市 全国3位



肉用牛

大崎町 全国5位



豚

曾於市 全国4位



豚

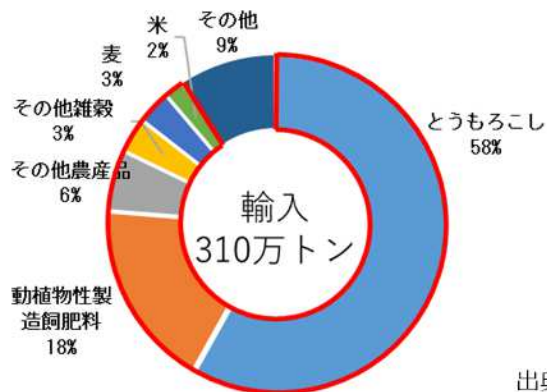
大崎町 全国3位



ブロイラー

出典：令和5年 市町村別農業産出額（推計）データベース（詳細品目別）

■ 品種別輸入貨物量（志布志港）



出典：令和5年港湾統計

農業

志布志市 全国4位



ピーマン

志布志市 全国2位

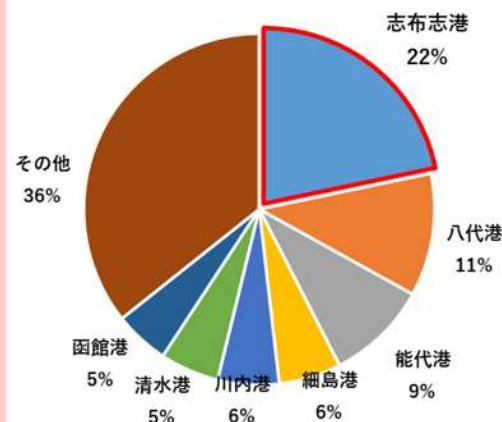


茶

出典：令和5年 市町村別農業産出額（推計）データベース（詳細品目別）

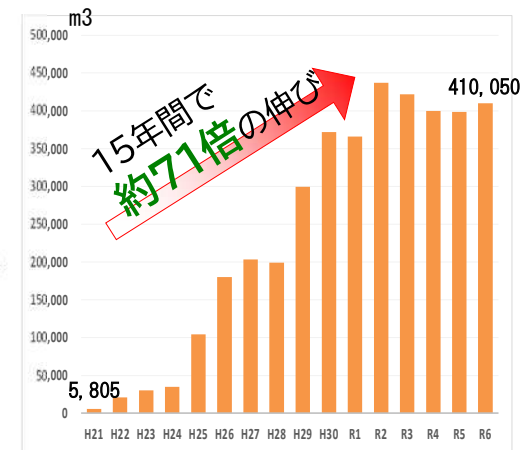
林業

■ 林産品の港別輸出貨物量



出典：令和5年港湾統計

■ 原木輸出量



出典：2024年 貿易統計

(4) 水産業

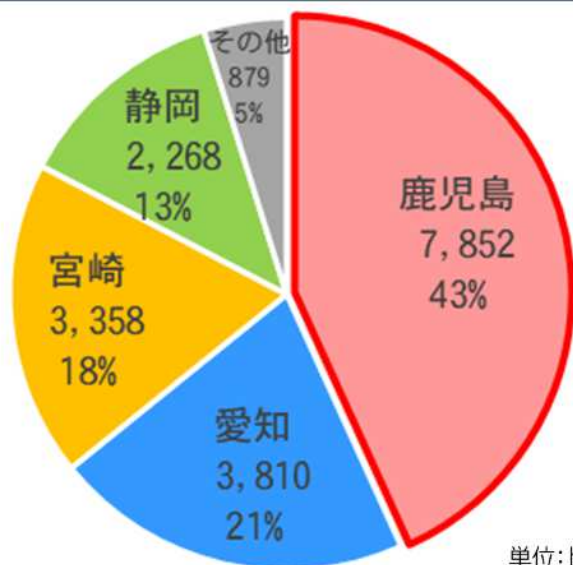
- ◆ 内水面養殖業の収穫量は、鹿児島県が全国 1 位。
- ◆ 養殖うなぎの収穫量も鹿児島県が全国 1 位で、志布志市や大崎町で養殖池数が増加。
- ◆ うなぎの加工品(蒲焼)の出荷先は関東・関西方面が全体の約 7 割を占める。
- ◆ 志布志市にあるうなぎ加工品の直売所は、ツアー客も立ち寄る観光スポット。

▼内水面養殖業収穫量(R5:都道府県別)

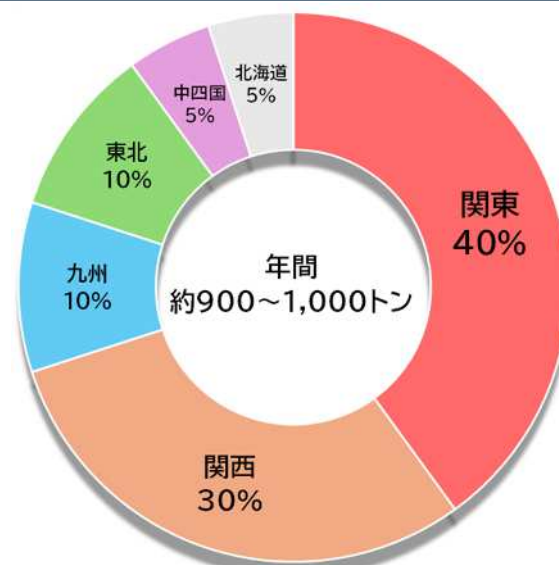
都道府県名	内水面養殖業収穫量
鹿児島	7,966
愛知	4,763
宮崎	3,583
静岡	3,527
長野	1,259
岐阜	1,241
福島	1,055
山梨	962
茨城	758
栃木	672

単位:トン

出典:内水面漁業生産統計調査

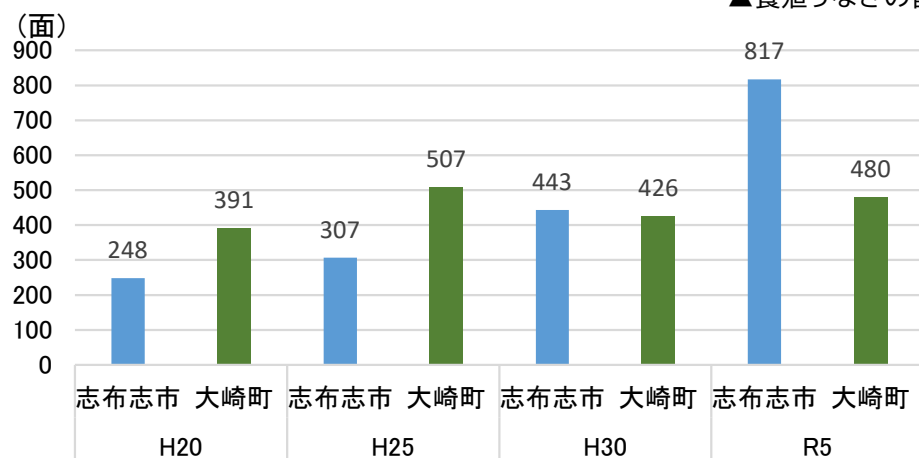


単位:トン



▲うなぎ加工品の出荷先

出典:志布志市内養鰻業ヒアリング



▲養殖うなぎの都道府県別収穫量(R5)

出典:内水面漁業生産統計調査

▲養殖池数

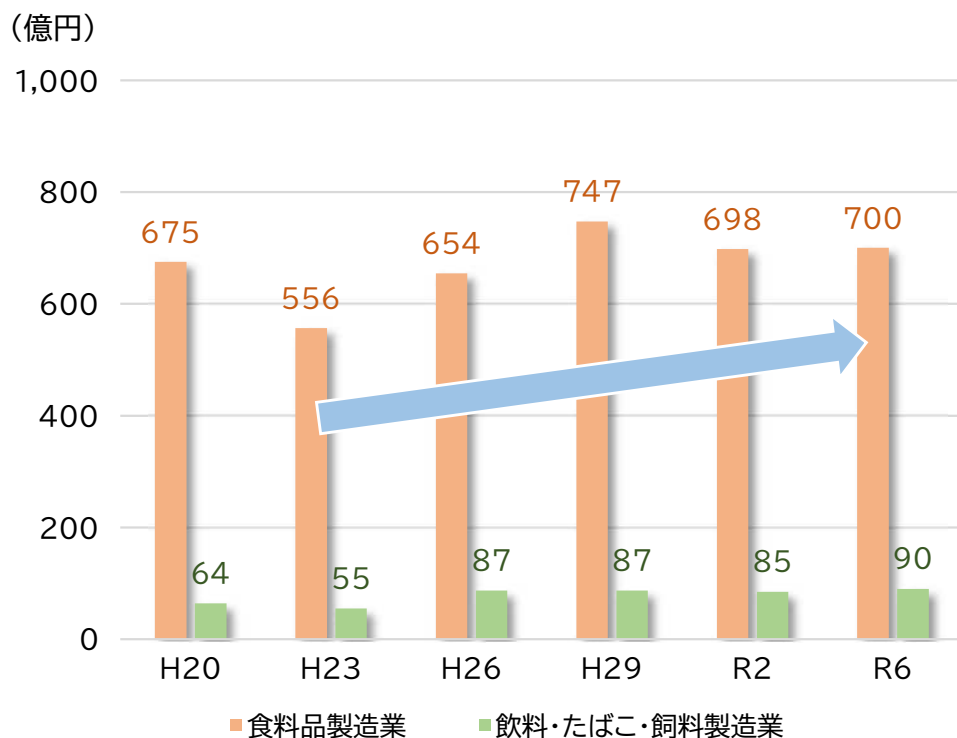
出典:漁業センサス



▲うなぎの駅

(5) 製造業

- ◆ 曾於市は「食料品製造業」、志布志市は「飲料・飼料製造業」、「食料品製造業」が主要な産業であり、製造品出荷額は、近年増加傾向。
- ◆ 曾於市は、食肉・ハム加工品や農産(1.5次)加工品の企業が進出。
- ◆ 志布志市は、家畜用配合飼料製造、お茶（輸出用茶、碾茶）、水産食品（ウナギ等）の企業が進出。

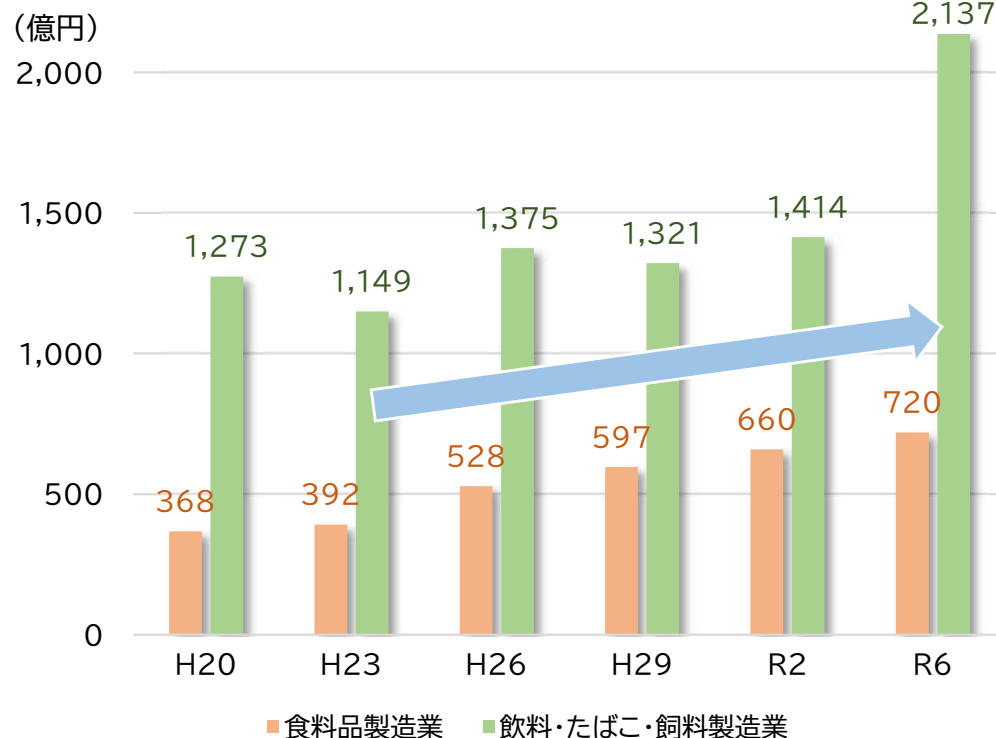


▲産業別製造品出荷額(曾於市)

出典:工業統計調査, 経済センサス, 経済構造実態調査

食肉・ハム加工品→株式会社ナンチク

農産(1.5次)加工品→株式会社ニチレイ・ロジスティックス



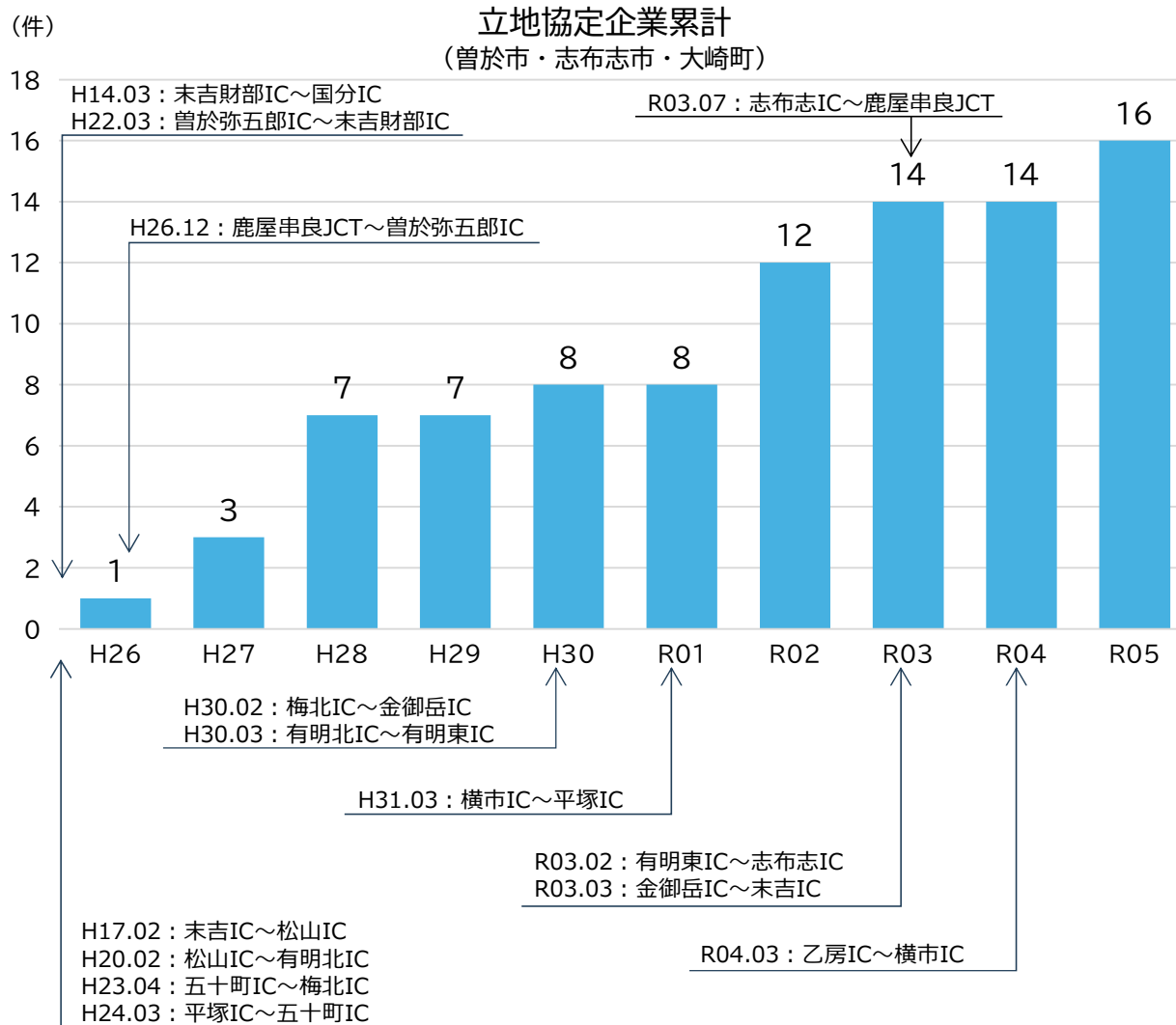
▲産業別製造品出荷額(志布志市)

出典:工業統計調査, 経済センサス, 経済構造実態調査

家畜用配合飼料製造→志布志飼料, 南日本くみあい飼料 等
お茶(輸出用茶, 碾茶)→鹿児島堀口製茶有限会社
水産食品(ウナギ等)→山田水産株式会社

(5) 製造業

- ◆ 曾於・志布志地域ではH26年以降，16社との立地協定を締結。
- ◆ 東九州自動車道や都城志布志道路の開通とともに，順次立地協定が増加。



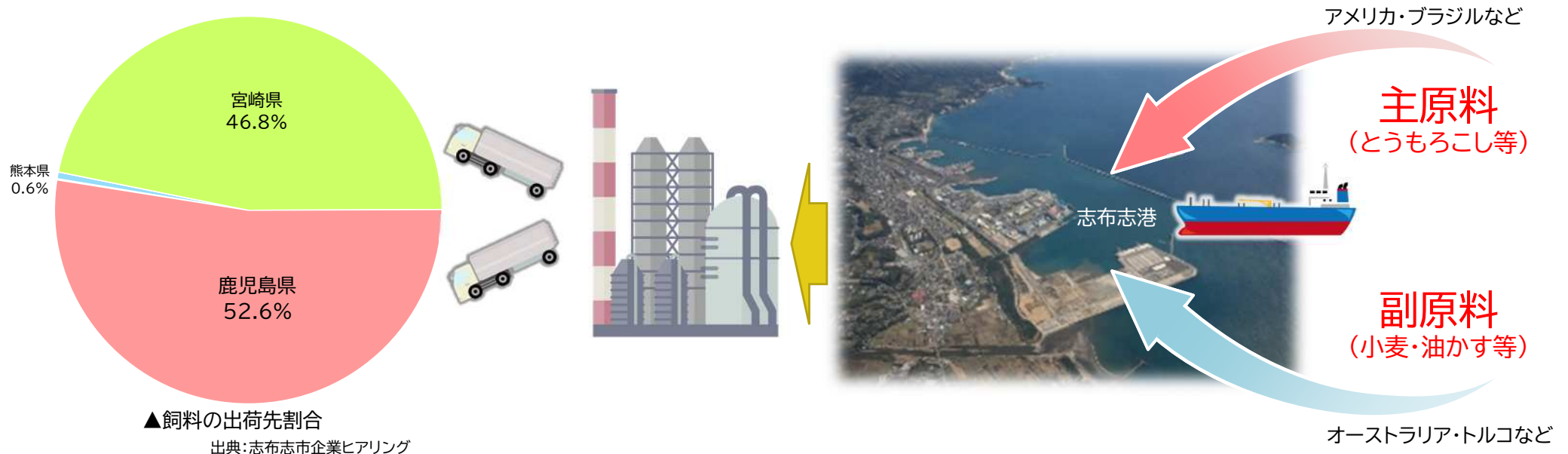
■立地協定企業（曾於市・志布志市・大崎町）

自治体	企業名	立地協定日
曾於市	株式会社ニチレイ・ロジスティクス九州	H28.12.15
曾於市	株式会社センリファーム	R02.08.19
曾於市	株式会社湯前	R03.10.25
曾於市	株式会社西原商会九州	R05.06.13
志布志市	ピュアフーズ岸株式会社	H27.12.11
志布志市	鹿児島堀口製茶有限会社	H28.07.04
志布志市	山田水産株式会社	H28.10.12
志布志市	鹿児島荷役海陸運輸株式会社	H30.11.19
志布志市	鹿児島堀口製茶有限会社	R02.02.07
志布志市	株式会社堀口園	R02.12.10
志布志市	外山木材株式会社	R03.02.25
大崎町	日本ハードウェア株式会社	H26.10.20
大崎町	松本商会株式会社	H27.07.01
大崎町	マンナン食品工業株式会社	H28.07.26
大崎町	九州エクス株式会社	R02.01.29
大崎町	株式会社ドイツツール技研	R05.10.31

出典：鹿児島県HP

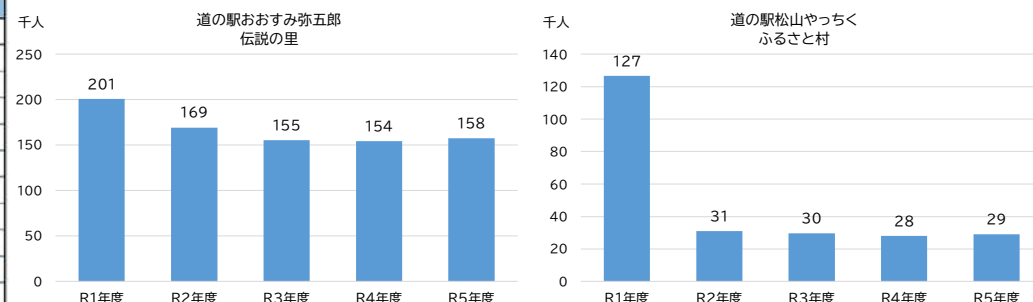
(5) 製造業（家畜用配合飼料製造業の声）

- ◆ 志布志市の主要な産業である家畜用配合飼料製造業は、志布志港周辺に立地。
- ◆ 配合飼料の主原料であるとうもろこし等は、アメリカ・ブラジル等から輸入。
- ◆ 副原料の小麦や油かす等も海外(オーストラリア・トルコ等)から輸入。
- ◆ いずれも志布志港から陸揚げし、飼料製造工場に搬入。
- ◆ 製品の出荷先は九州内で、そのほとんどは鹿児島県（鹿屋市・志布志市など）、宮崎県（都城市・綾町・川南町など）。

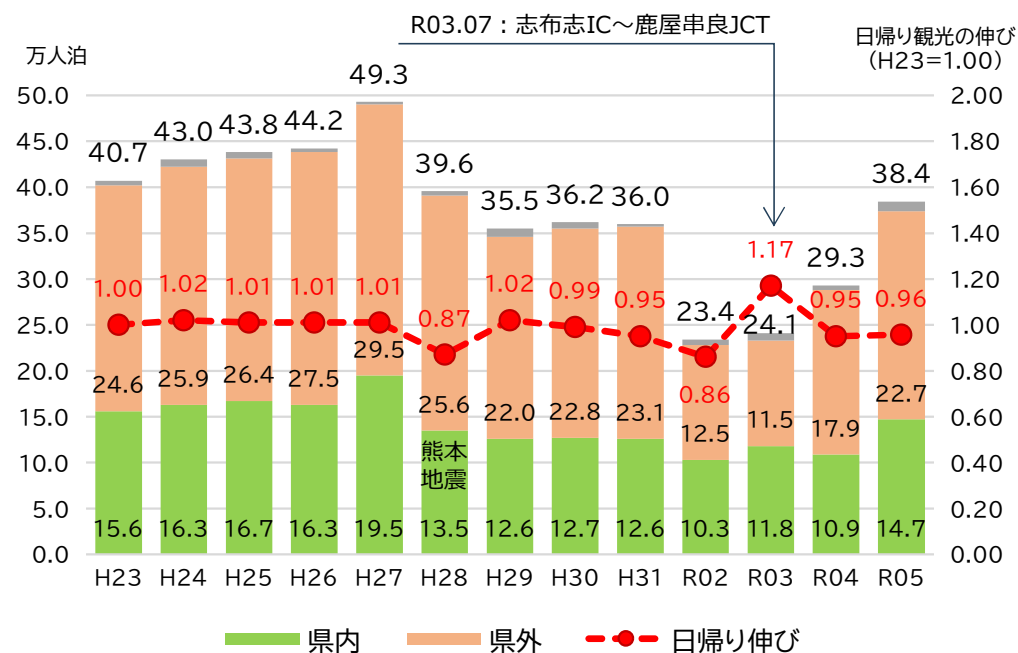


(6) 観光

- ◆ 大隅地区の宿泊者数はH27をピークに減少傾向，コロナ禍のR2以降は増加・回復。
- ◆ 日帰り客は変動はあるものの，概ね横ばい・微減傾向。



▲道の駅来訪者数(レジ通過者数)

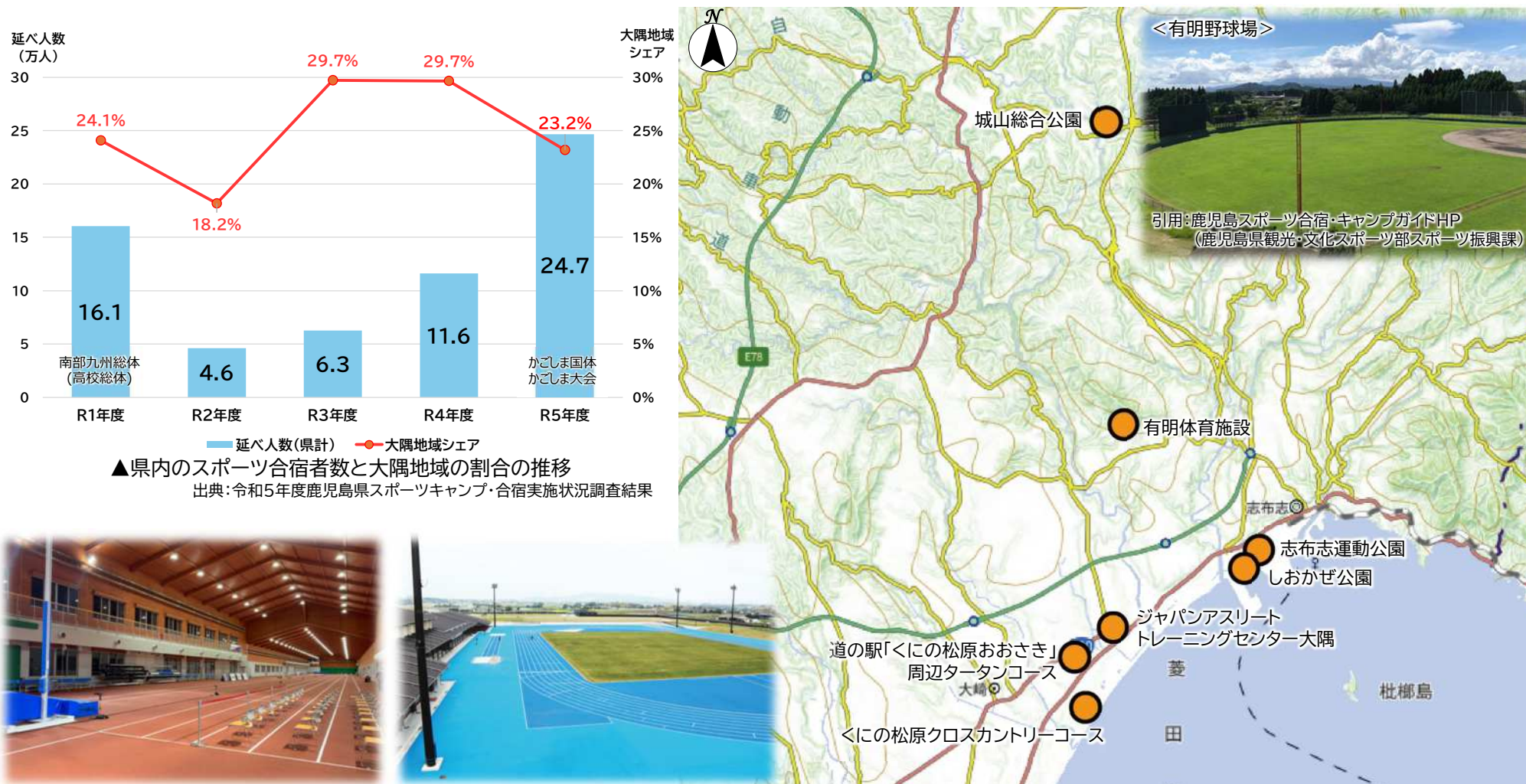


▲大隅地区延べ宿泊者数の推移, 日帰り客数の伸び

出典: 鹿児島県観光統計

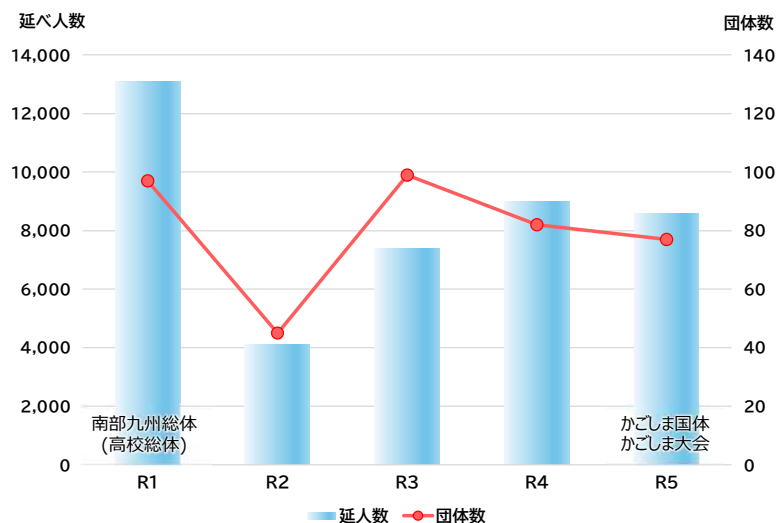
(6) 観光

- ◆ 鹿児島県内でのスポーツキャンプ・合宿者数は、R2年度のコロナ禍以降増加傾向。
- ◆ 鹿児島国体が実施されたR5年度は延べ24.7万人で、過去最高の合宿者数。
- ◆ 鹿児島県内での合宿者数の約1/4を、大隅地域で受け入れ。
- ◆ 志布志市・大崎町では、様々なスポーツ施設が点在し、スポーツ合宿の誘致が盛ん。

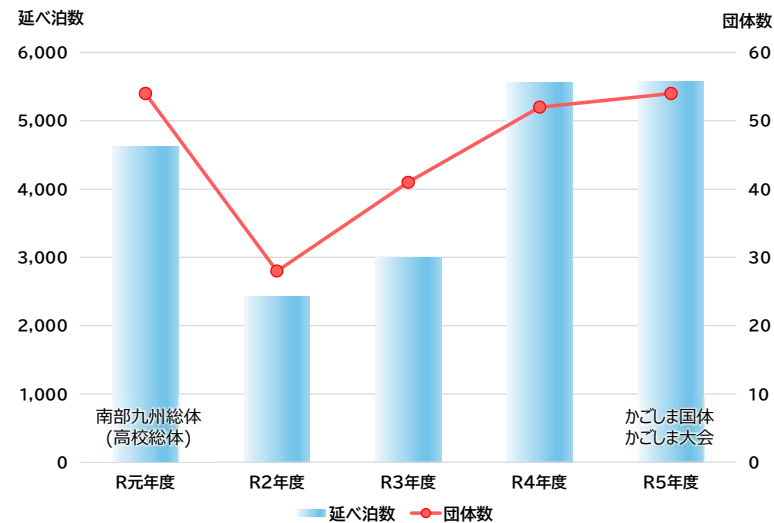


(6) 観光

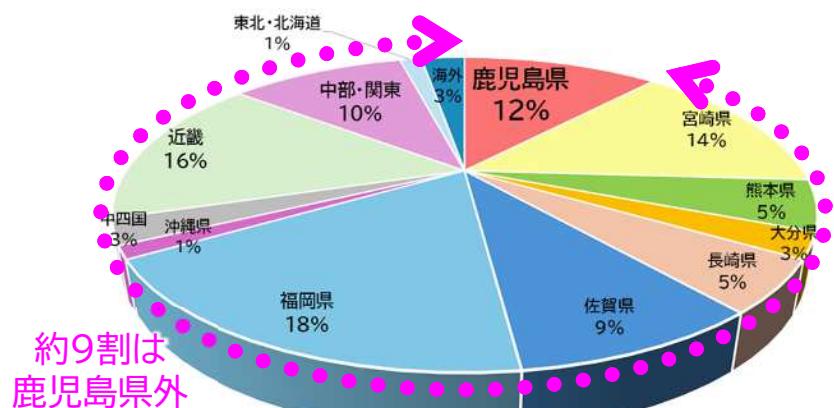
- ◆ 志布志市は年間約80団体、延べ約8,000人以上の合宿者を受け入れ。
- ◆ 大崎町は年間約50団体、延べ約5,000人以上の合宿者を受け入れ。
- ◆ 合宿団体の地域割合は、志布志市は約9割、大崎町は約6割が県外からの合宿者。



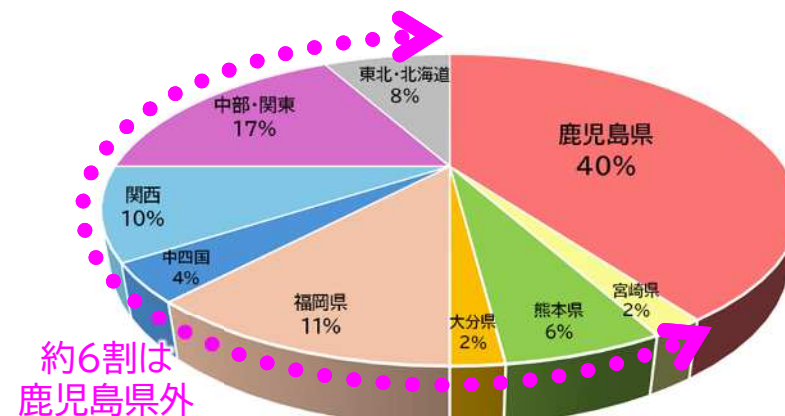
▲スポーツ合宿者・団体数の推移(志布志市)
出典: 志布志市港湾商工課資料



▲スポーツ合宿者・団体数の推移(大崎町) 出典: 大崎町商工観光課資料
(合宿奨励制度利用者を対象)



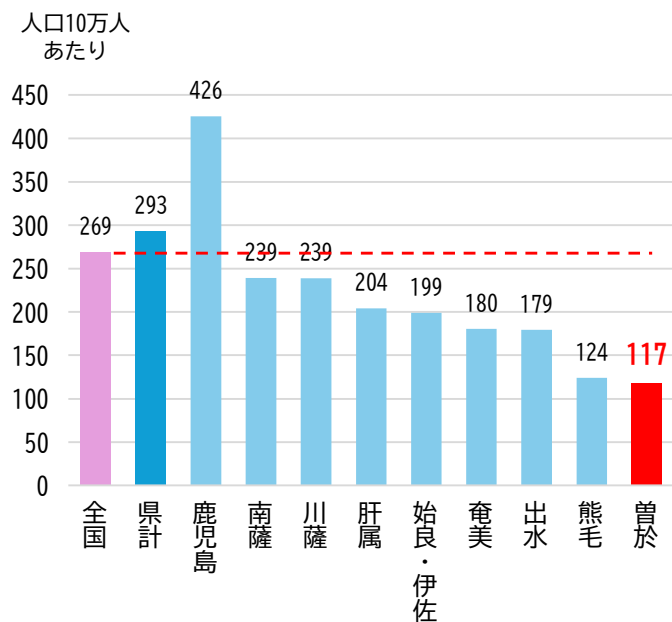
▲スポーツ合宿団体の地域割合(志布志市:R5)
出典: 志布志市港湾商工課資料



▲スポーツ合宿団体の地域割合(大崎町:R5)
出典: 大崎町商工観光課資料
(合宿奨励制度利用者を対象)

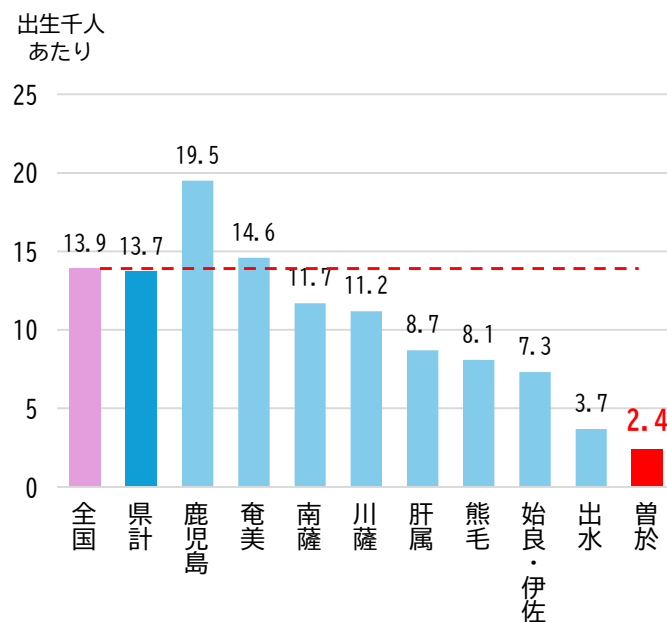
(7) 医療

- ◆ 人口当たりの医師数（総数・産科医・小児科医）は，県内ワーストの水準。
- ◆ 全国平均・県平均と比べて，約 2 ～ 6 倍の格差。
- ◆ 曾於地域における地域医療サービスの水準は脆弱。



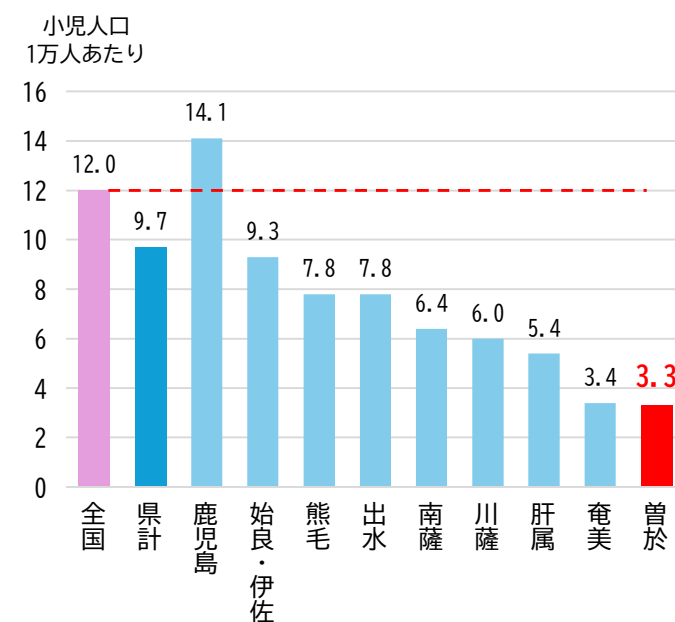
▲人口10万人あたりの医師総数

出典：鹿児島県保健医療計画(R6.3)



▲出生千人あたりの産科医数

出典：鹿児島県保健医療計画(R6.3)



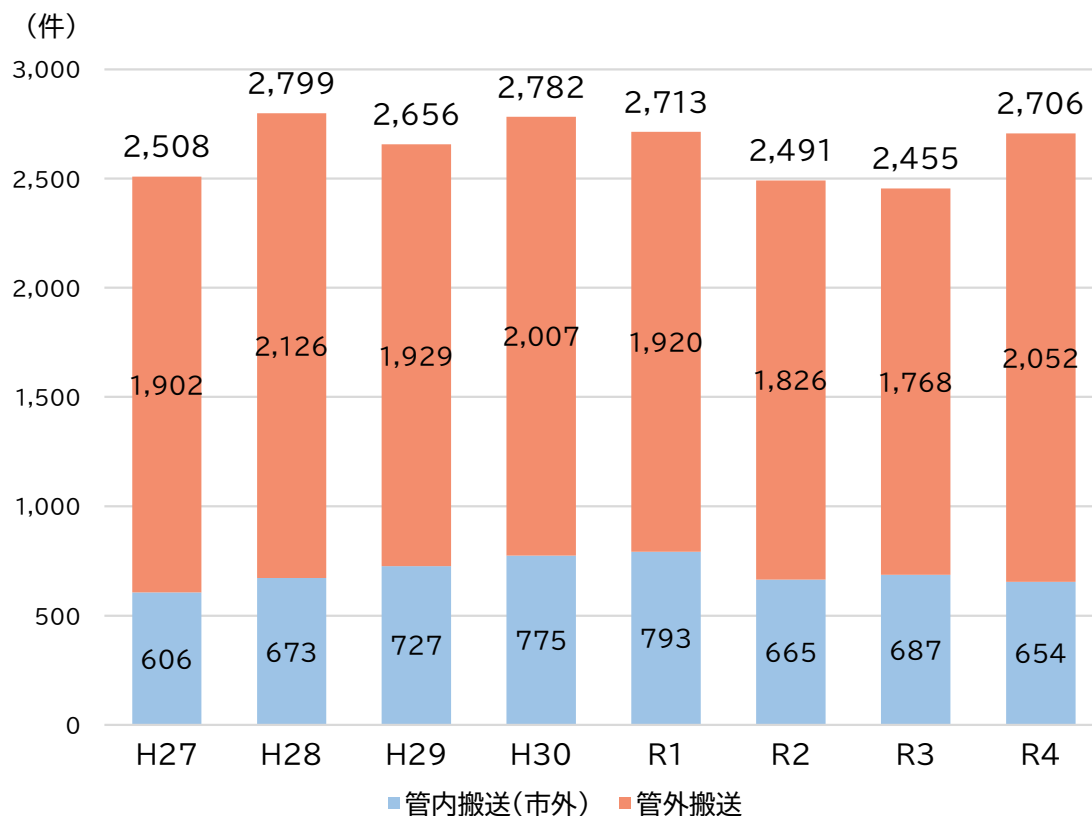
▲小児人口1万人あたりの小児科医数

出典：鹿児島県保健医療計画(R6.3)

(7) 医療

- ◆ 救急搬送のうち、市外への搬送は年間約2500件前後で推移、約 1 / 4 が管内搬送。
- ◆ 曾於・志布志地域の二次救急医療機関は曾於市に、救急告示医療機関は曾於市と志布志市に立地。
- ◆ このため管内搬送のうち、約65%が「曾於市⇔志布志市」の搬送。

■救急搬送(市外)の件数



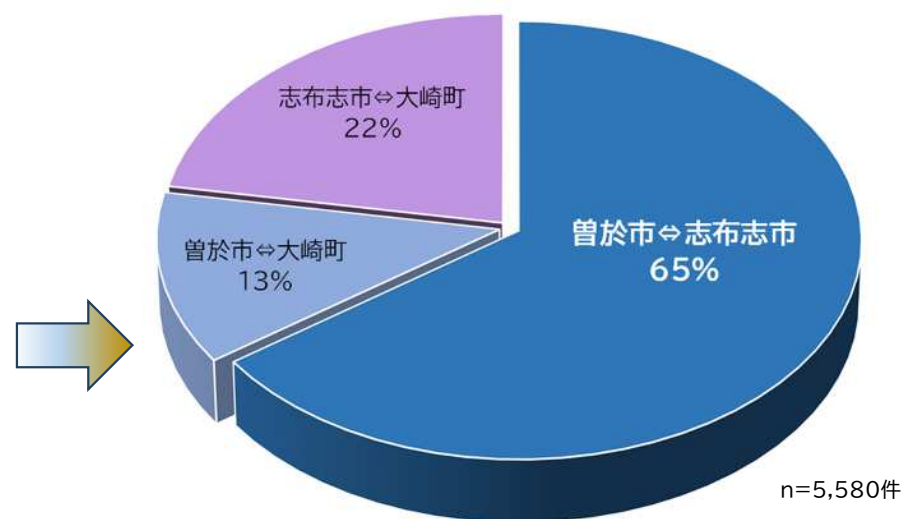
※管内搬送(市内)の搬送は含んでいない。

出典：曾於・志布志地区消防組合消防本部資料

■曾於地域の二次医療施設

	所在地	病院名
二次救急医療機関	曾於市	曾於医師会立病院
	曾於市	松岡救急クリニック分院
救急告示医療機関	曾於市	昭南病院
	志布志市	びろうの樹脳神経外科

出典：鹿児島県保健医療計画(R6.3)

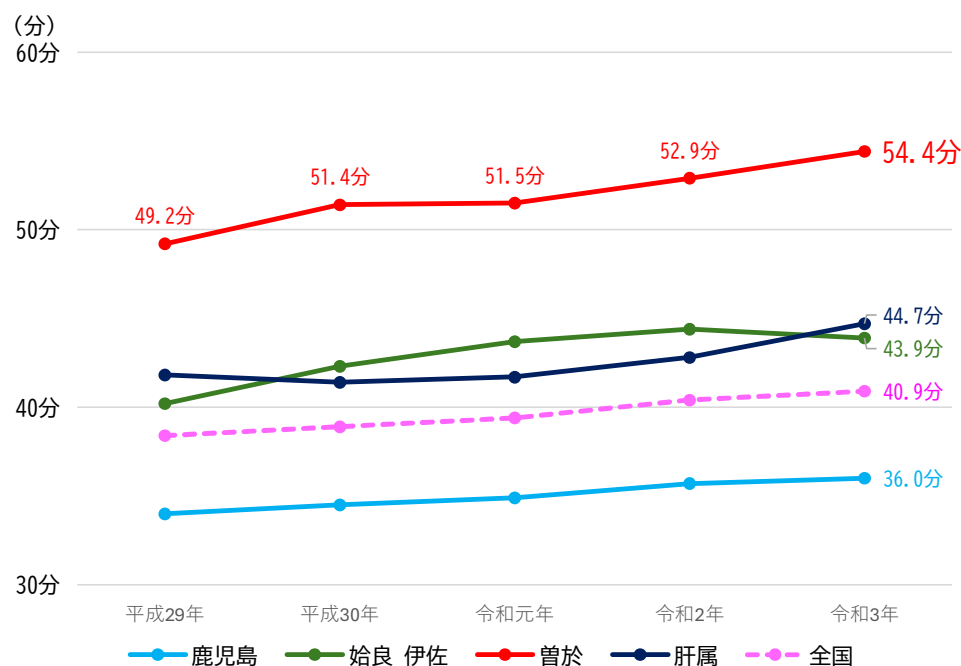


▲管内搬送件数の方面割合(H27～R4)

出典：曾於・志布志地区消防組合消防本部資料

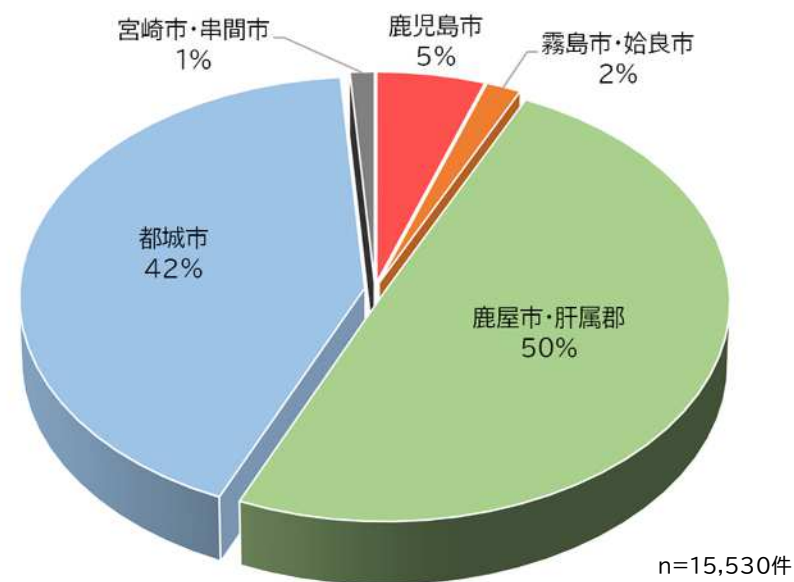
(7) 医療

- ◆ 管外搬送が約 3 / 4 を占める救急活動のため、覚知から病院収容までの時間は県内ワーストの水準、全国平均に比べ10分以上を要している。
- ◆ 隣接する鹿屋市・肝属郡への搬送が約 5 割、都城市への搬送が約 4 割。



▲ 覚知から病院収容までの時間

出典: 鹿児島県保健医療計画(R6.3)

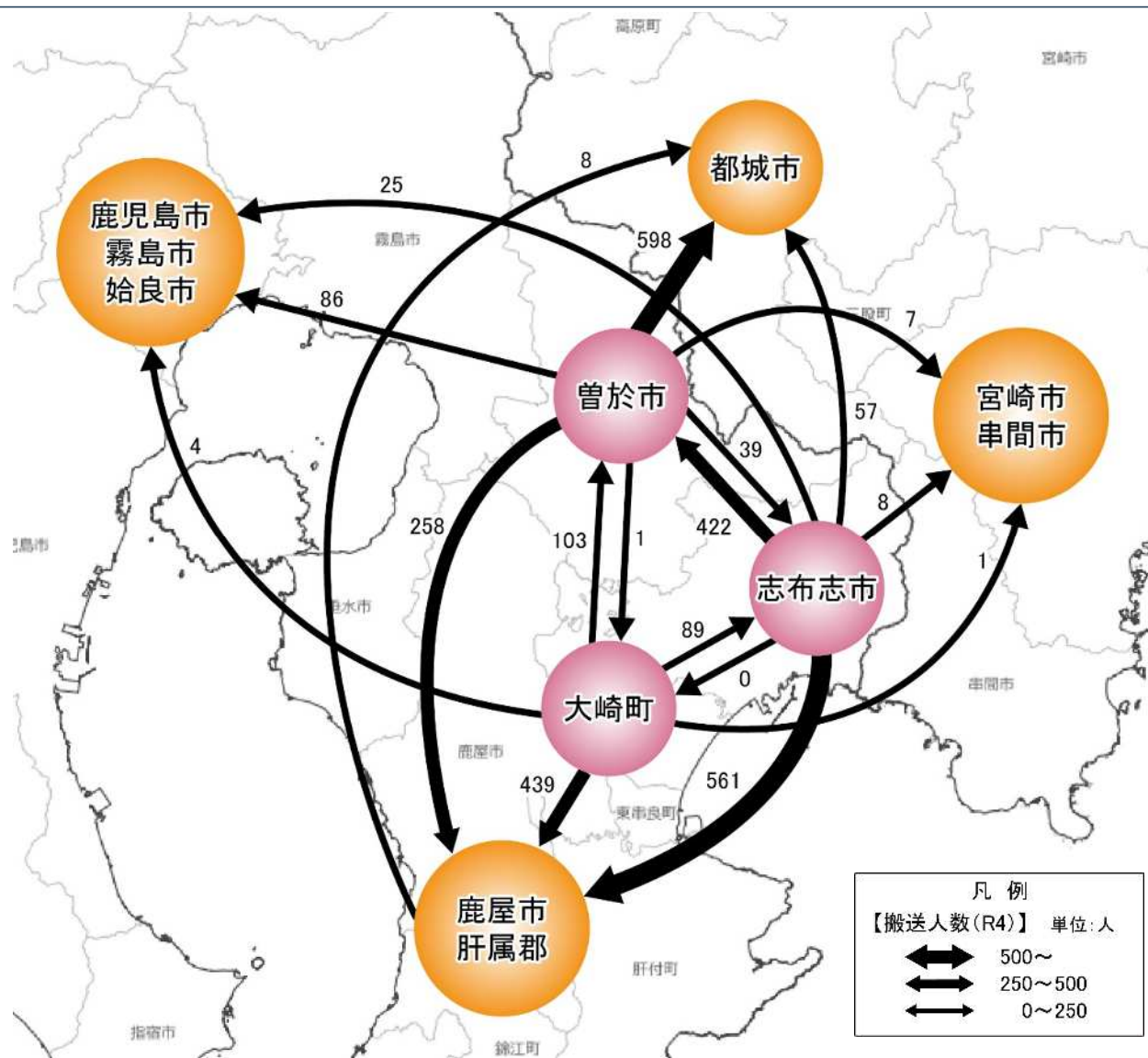


▲ 管外搬送件数の方面割合(H27~R4)

出典: 曾於・志布志地区消防組合消防本部資料

(7) 医療

- ◆ 管内搬送では、二次救急医療機関のある曾於市へ搬送が多い。
- ◆ 管外搬送では、曾於市から都城市、志布志市から鹿屋市等への搬送が多い。



▲ 救急搬送流動(R4)

出典: 曾於・志布志地区消防組合消防本部資料

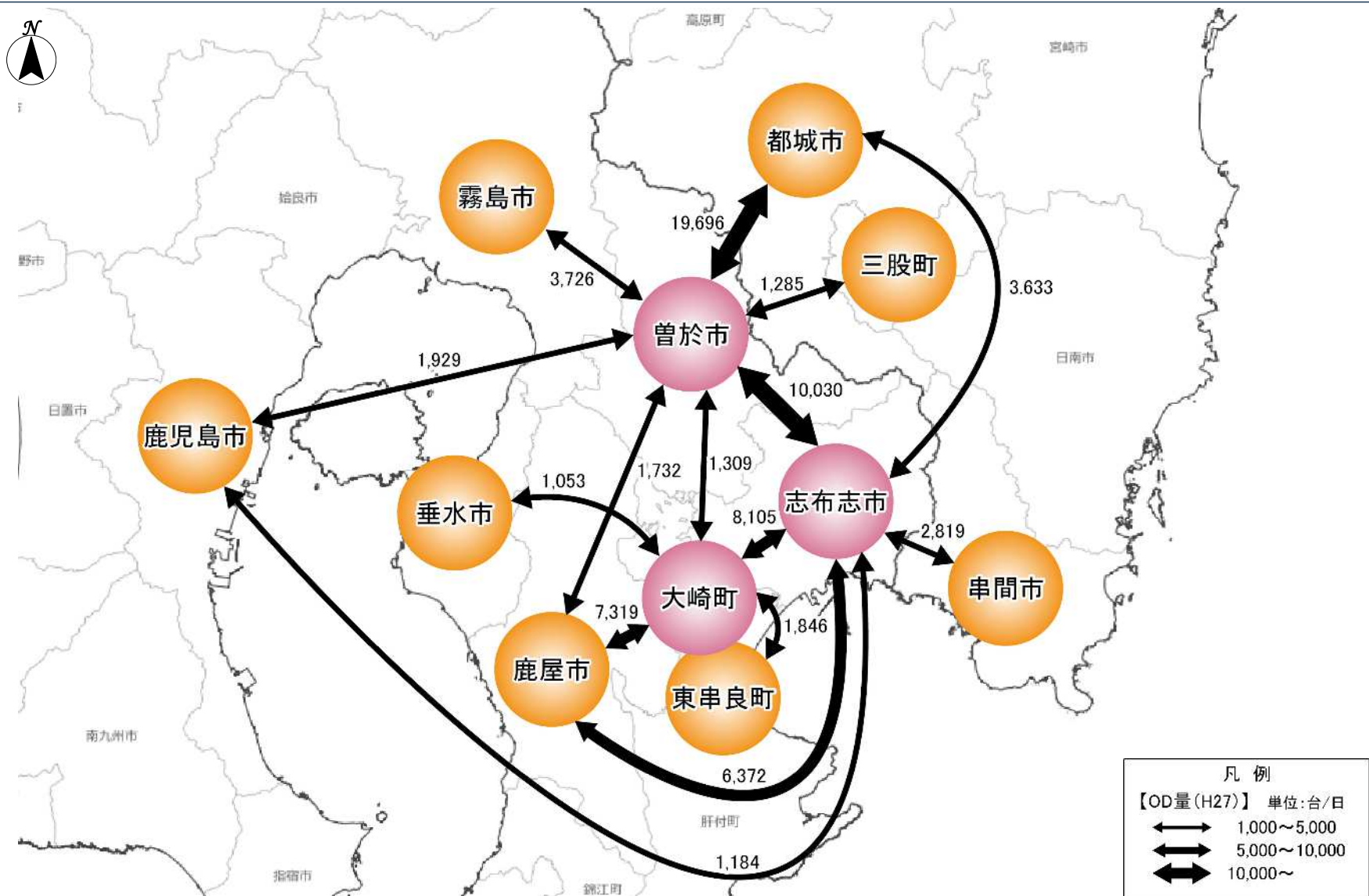


2. 道路ネットワークの現状

- | | | |
|-------------------|-----|-----|
| (1) 地域間の交通流動 | ・・・ | P20 |
| (2) かごしま新広域道路交通計画 | ・・・ | P22 |
| (3) 東九州自動車道の整備状況 | ・・・ | P23 |
| (4) 都城志布志道路の整備状況 | ・・・ | P24 |

(1) 地域間の交通流動

- ◆ 曾於市⇔志布志市が約10千台/日，志布志市⇔大崎町が約8千台/日の交通量。
- ◆ 曾於市は志布志市と都城市，志布志市は曾於市と大崎町との結びつきが強い。

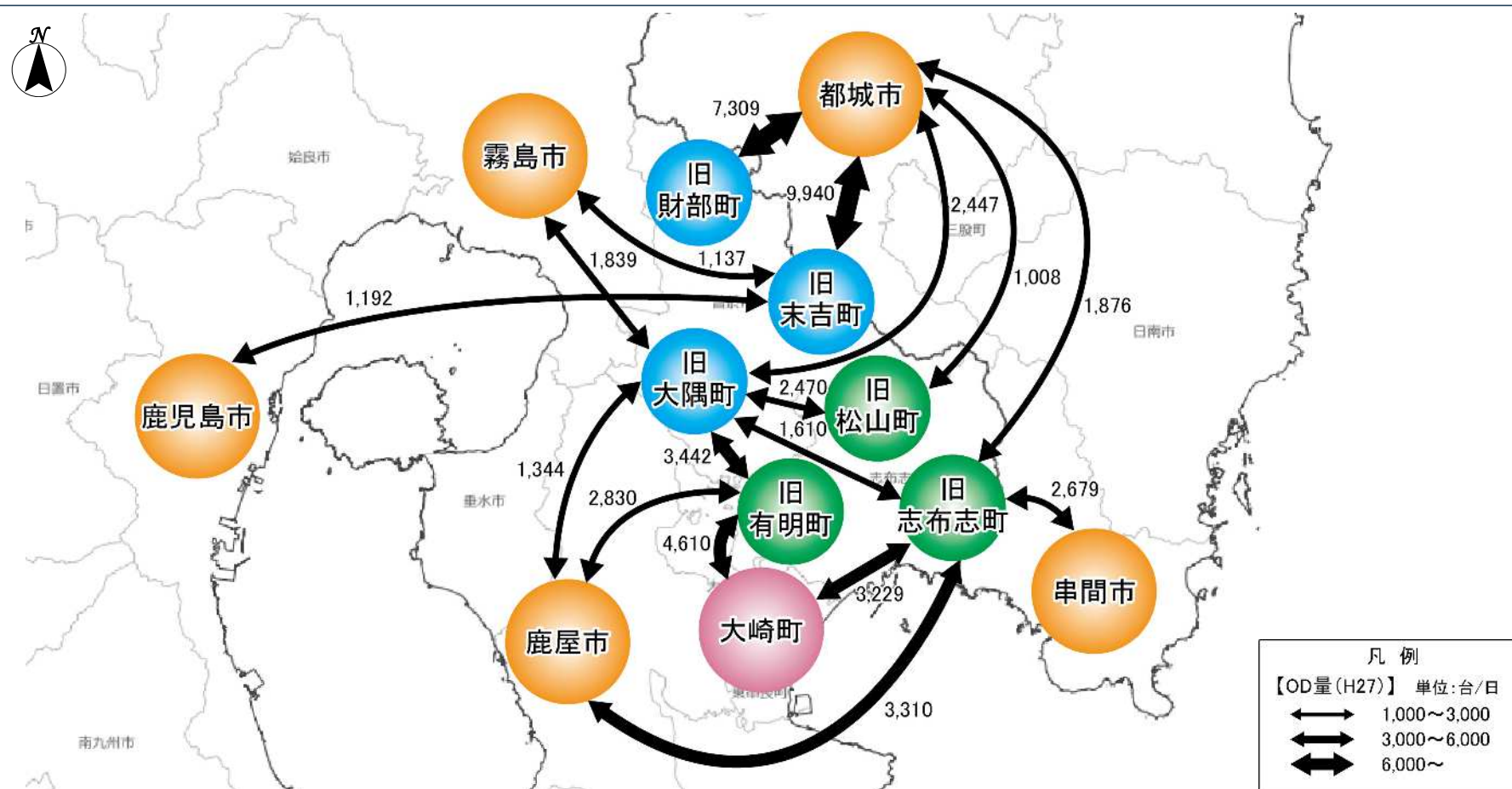


▲ 自動車分布交通量(曾於市, 志布志市, 大崎町関連)

出典: H27全国道路・街路交通情勢調査
※1,000台/日以上を図示

(1) 地域間の交通流動（参考：合併前市町村）

- ◆ 旧有明町⇔大崎町：4.6千台/日，旧有明町⇔旧大隅町：3.4千台/日
- ◆ 旧志布志町⇔大崎町：3.2千台/日
- ◆ 旧大隅町⇔旧松山町：2.5千台/日，旧大隅町⇔旧志布志町：1.6千台/日
- ◆ 旧末吉町⇔都城市：9.9千台/日，旧財部町⇔都城市：7.3千台/日
- ◆ 旧志布志町⇔鹿屋市：3.3千台/日



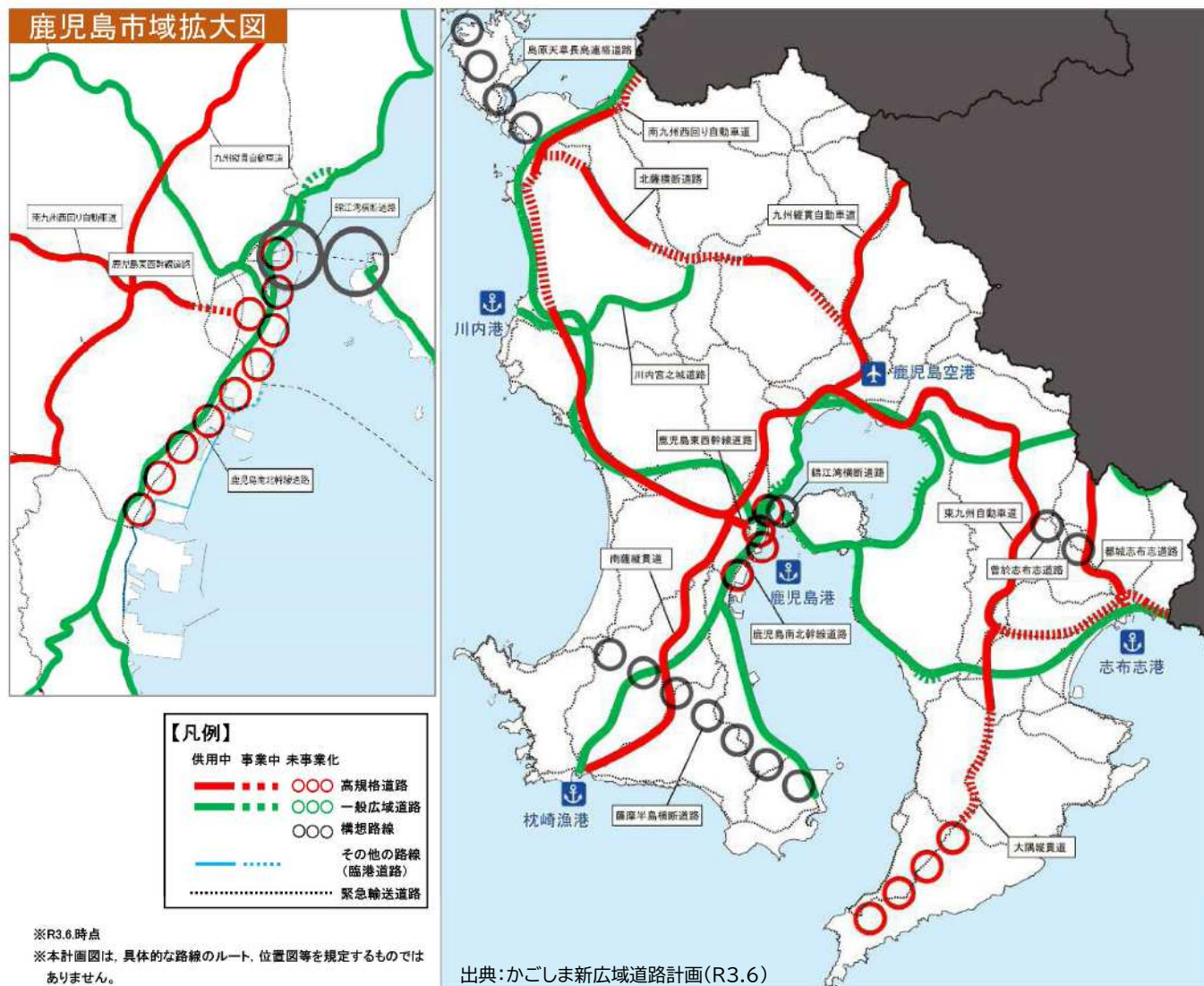
▲ 自動車分布交通量(曾於市(合併前), 志布志市(合併前), 大崎町関連)

出典: H27全国道路・街路交通情勢調査
※合併後市内々々を除く1,000台/日以上を图示

(2) かごしま新広域道路交通計画

- ◆ かごしま新広域道路交通計画(R3.6)において, 広域道路ネットワーク計画を策定。
- ◆ 曾於・志布志地域では, 都城志布志道路等が高規格道路, 曾於志布志道路が構想路線。

鹿児島県広域道路ネットワーク図



広域道路

都市圏間や広域交通の拠点となる都市等を効率的に連絡する道路やこれらの道路と重要な空港・港湾等を連絡する道路

■高規格道路

主要な都市や重要な空港・港湾を連絡するなど, 高速自動車国道を含め, これと一体かつ補完的に機能する道路
～ サービス速度60km/h以上 ～

⇒ 東九州自動車道, 都城志布志道路 等

■一般広域道路

広域道路のうち高規格道路以外の道路
～ サービス速度40km/h以上 ～

⇒ 国道10号, 国道220号 等

■構想路線

高規格道路等の役割が期待されるものの, 起終点が決まっていないなど, 個別路線の調査に着手している段階にない道路

⇒ 曾於志布志道路 等

- ◆ 平成22年3月から順次開通し、令和3年7月志布志 I C～鹿屋串良 J C Tの開通により、延長約48kmが開通。
- ◆ 志布志市～鹿児島空港及び鹿児島中央駅への所要時間が約1時間短縮し、開通1年後の交通量は、開通当初の約4倍に増加。

出典：都城曾於地域の幹線道路に関する検討会第1回資料

百台/日

平日

H22.3 開通後(H26.11)
 H26.12 開通後(H27.6)
 R3.7 開通後(R4.7)

約4倍

未吉財部 IC
 曽於弥五郎 IC
 野方 IC
 鹿屋串良 JCT
 大崎 IC
 志布志有明 IC
 志布志 IC

資料 平日:H26.11.26(水)、H27.6.18(木)観測結果 R4.7車両感知器平日平均

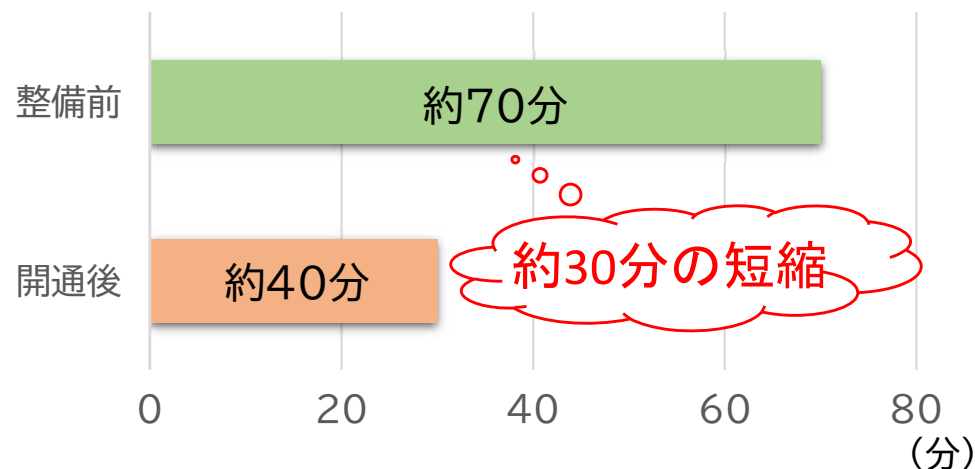
(3) 都城志布志道路の整備状況

- ◆ 平成17年2月から順次開通し、令和7年3月に全線約44kmが開通。
- ◆ 都城志布志道路の整備により、都城IC～志布志港間の所要時間は約30分の短縮。

■位置図



■都城IC～志布志港の所要時間



▲ 開通式 令和7年3月23日
(志布志IC～志布志港)

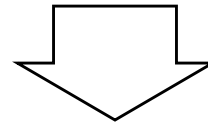
3. 今後の進め方（案）

(1) 今後の進め方（案） …… P26

令和3年6月

かごしま新広域道路交通ビジョン・計画策定

○ 曾於志布志道路を「構想路線」に位置づけ

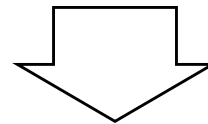


令和7年11月

曾於志布志道路 第1回検討会（今回）

○ 地域の概要

○ 道路ネットワークの現状



次回以降

○ 地域の課題

○ 道路ネットワークの課題・分析

○ 曾於志布志道路の機能・役割等